



# 江戸時代

You play the cards you're dealt

永田円了

平安時代以降700年近く続いた戦乱の世は終焉をむかえ、以後260年続いた江戸時代。封建制、身分制度、鎖国等の縛りはあったにせよ、比較的落ち着いた穏やかな社会が日本に存在した。人口が増え、経済が発展し、文化が花開いた時代であった。

一方、自由競争が許され、資本主義が根付いた現代、文明は発展したが、いつも他者との比較によって心が安定しない日々、何か新しい魅力を江戸時代から見出し、少しでも清風を取り込むことはできないだろうか。次の三つの視点で検証してみたい。

## 江戸の哲学

江戸の世は何といっても儒教（孔子、紀元前 551～）の影響がすべてに行き渡っていた。キーワードは、忠義と親孝行。この二文字だけで生きて行くことができた。武士は主君への忠義、町民たちは親に対する敬意を持てれば、何も迷うことはなかった。

英語の諺に「人間、配られたカードで勝負するもの」You play the cards you are dealt. がある。自分に与えられた境遇をそのまま受け入れ、そのカードで勝負する。隣の人のカードを羨む現代とは大違いの、何ともいさぎよい生き方である。

## 江戸の経済

天正15年（1590年）、時の最高権力者、豊臣秀吉が家康を三河から江戸という僻地へ飛ばしたことに始まる。当時の江戸は湿地が広がる人口6万人の小さな田舎町だった。

当時、江戸の経済の主役は武士だった。この小さな田舎町が、大名が関わる二つの出来事によって経済が大きく動き出すことになる。1つは、天下普請、この公共事業によって江戸に巨額の建設資金が流れ込んだ。もう1つは、参勤交代。2年に1度の大名たちの大移動によって、江戸に膨大な消費が生まれた。結果、江戸の人口は6万人から100万人に達し、世界一の大都市に成長したのであった。因みに当時のロンドンの人口は58万人、パリは51万人だった。



## 江戸の気質

江戸っ子は宵越しの銭はもたない。お金に執着しない。浮世を身軽に生きて行くいさぎのよさは、一体どこから生まれたのか。歴史を紐解くと、江戸時代260年の間、大火が10回も起こっていた。普通の火災も含めると、なんと3年に1度の火災が発生していたのである。江戸の町はその都度焼け野原になった。にも拘らず、住民の表情は暗くはなかった。

当時の英国駐日公使の日記に次のような記録がある。「江戸の人々は、火事で焼かれる運命を受け入れ、安普請の家で暮らしている。家が燃えても悲しまず、不満にも思わず、いつも上機嫌で幸せそうだった」。

そんな江戸っ子への褒め言葉は、お前さん粋だね！！

### <事例 DVD>

米映画「ファミリービジネス」より； You play the cards you're dealt.  
NHK スペシャル「大江戸」より； 江戸時代の哲学・経済・気質  
昭和の名優・長谷川和夫の粋； 徹子の部屋より  
藤沢周平の描く世界； 定めを生きる下級武士の姿の美しさ  
定めと受け入れる婚姻のあり様； 柘榴坂の仇討より  
武家の役割とは； 大河ドラマ「篤姫」より  
玉三郎「こころとかたち」； 行を生きる哲学  
歌・ジュディ・オング「魅せられて」、ドミンゴ「君は我が心のすべて」



円了のホームページ： [www.enryo.jp](http://www.enryo.jp)